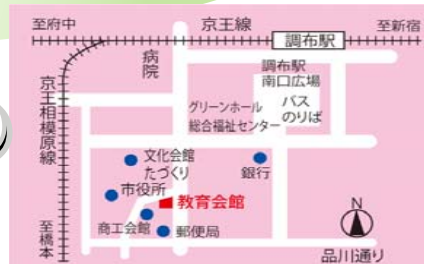


～第8回市民サロン開催のお知らせ～

都市計画マスタープランの見直しについて、参加いただいた市民の方々と話し合いを進めます。

日程 平成25年6月21日(金) 午後7時から
 場所 調布市教育会館2階201・202会議室
 主な内容 環境問題に対応した街づくりをテーマとした話し合い
 (後半 課題の解決策編)

参加自由です!
 お気軽にご参加ください。



会場案内図
 ※お車でのご来場はご遠慮ください。

※第8回以降も、定期的に市民サロンを開催します。

第9回テーマ：地域活性化と住民発意のまちづくり【前半】7月30日(火)

第10回テーマ：地域活性化と住民発意のまちづくり【後半】8月下旬頃

❀ 次回の市民サロンの進め方 ❀

第8回市民サロンでは、第7回で話し合った「環境問題に対応したまちづくり」に関する課題や問題点について、解決するためにはどのような取組が必要か、何を強化すべきなのかといったことについて、グループごとに話し合います。

▶ 第8回市民サロンの話し合いの手順(イメージ)

ステップ1
 第7回市民サロンの意見をもとに
 課題や問題点を共有化



ステップ2
 課題を踏まえた方針・取組の検討を
 行います。

ステップ3
 グループごとに検討内容を発表し、
 全体で共有します。



①一人ひとりの意見をポスト
 イットに記入していきます!

②類似する意見をまとめて、グループ
 の意見として集約していきます。

■ 調布市では、マスタープランの見直し作業の過程等について、このニュースでわかりやすくお知らせしていきます。
 発行 調布市都市整備部 都市計画課 都市計画係
 Tel : 042-481-7453 Fax : 042-481-6800 mail : tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp

登録番号
 (刊行物番号)

2013 - 56

調布市 都市計画マスタープラン 見直しニュース 第8号

調布市では、長期的・総合的な視点から今後の都市計画の指針となるものとして平成10年に策定した「調布市都市計画マスタープラン」の見直し・改定に向けた取り組みを進めております。

平成25年6月6日
 調布市都市計画課発行

第7回都市計画マスタープランを考える市民サロンを開催しました

マスタープラン改定に向けて、第7回市民サロンを5月14日(火)午後7時から開催しました。当日は22人の市民の方にご参加いただき、多くのご意見をいただきました。

▶ 第7回市民サロンの概要について

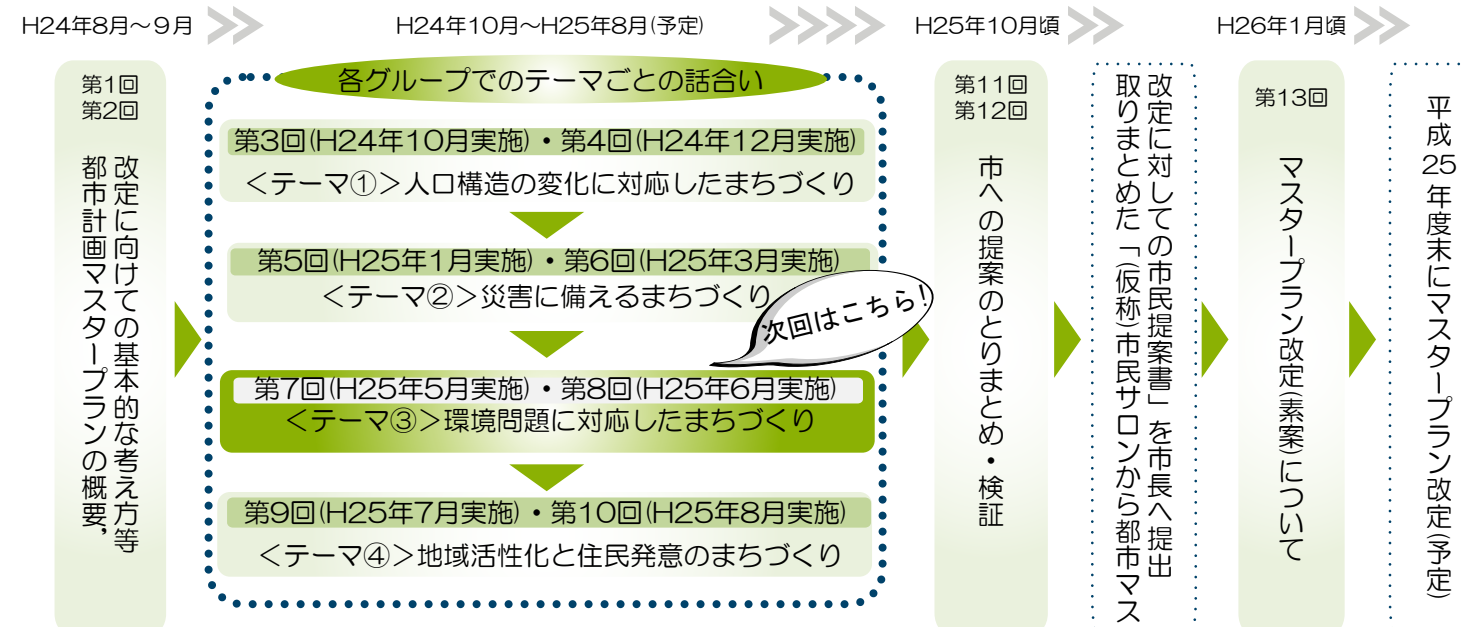
近年、地球温暖化に代表される地球環境をはじめ、公園や緑地などの自然環境、地域の景観など、環境問題に対する市民の意識と関心が高まっています。地球温暖化対策は全世界共通の課題であるとともに、局地的な集中豪雨の頻発など、調布市においても身近な社会生活に影響を与える問題です。一方で、国分寺崖線の緑、多摩川や野川などの水辺と湧水に恵まれた自然環境・景観は、都心から近距離にある調布市の大きな特徴となっており、それらの保全が課題となっています。このような背景がある中で、第7回市民サロンでは、「環境問題に対応したまちづくり」をテーマに話し合いを行いました。

当日は、はじめに前回の振り返りとして、市から第6回市民サロンでいただいたご意見の概要を紹介し、その後、グループに分かれてテーマについて話し合いを行いました。グループごとの話し合いでは、緑や湧水の現況、河川の整備状況など、自然資源に関する内容についての説明や景観資源に関する状況を説明し、低炭素などの地球環境や景観などの視点で考えられる課題や問題点について意見交換を行いました。

※当日の話し合いの内容は、中面をご覧ください。

*** 市民サロン開催スケジュール ***

市民サロンでは、近年の社会情勢等の変化をもとに、大きく4つのテーマについて意見交換を行っています。1つのテーマにつき、2回の市民サロンで話し合いを行い、市への提案として取りまとめることを予定しています。



※このスケジュールは現在の予定を示したものですので変更になることがあります。

第7回市民サロンの様子

～市民サロンでいただいたご意見を紹介します～

Aグループ



関連分野	関連する施策	主なご意見
交通	生活道路等の整備、自転車道路や散歩道の整備を検討	■ 市内には、歩行者と自転車が交わり危険な場所がある。より安心して暮らすために 日常生活の環境を整えていく かということは、景観よりも 最優先事項 である。
環境、住環境	公園・緑地の保全、整備	■ 東部地域は、崖線や農地などの 緑が減少しつつあるので、保全策が必要 である。 ■ 旧甲州街道などの沿道には、ビルが建ち並び、緑が少なく感じる。緑を増やしていくためには 屋上緑化や壁面緑化を推進 することも大事である。
	湧水、地下水、雨水の確保	■ 崖線からの湧水が減少し、野川の水量が減少しているなど、野川周辺の自然環境が変化している。市内の湧水を守るためにも、 住宅の敷地や道路から雨水を浸透させる ことが大事である。
	—	■ エネルギーを消費面だけみるのではなく、学校や公共施設等を利用し、エネルギーを 地域で作らず視点を持つことも重要 である。
住環境、景観	調布らしさを発揮する都市景観の在り方の検討	■ 旧甲州街道は歴史のある街道であるが、その姿がどんどん減ってきているので、歴史の道として将来に残すためにも、 今ある街の姿を守っていく ことが必要である。

Cグループ



関連分野	関連する施策	主なご意見
交通(低炭素まちづくり)	生活道路等の整備	■ 街並みの景観をより良くしていくためにも、道路にある 電柱の地中化 を進めることが必要である。
	公共交通等の充実	■ 自動車での移動を極力少なくする取組を進める ことが必要である。 ■ 環境負荷の少ないまちづくりを進めるためには、 道路を必要以上につくらないことや電気自動車の普及(バスから導入を検討する) が重要である。
環境、住環境	公園・緑地の保全、整備	■ 中心市街地は「にぎわい・庭園ちょうふ」というデザインコンセプトを持っているのだから、実現に向けた具体策を示すべきである。 ■ 道路上や公園などの 緑を維持するためには、地域などに働きかける ことが必要である。
	—	■ 市内にある公共施設等を利用し、太陽光パネルを設置して、電力をまかなうなど、低炭素に向けた取組が必要である。
景観	調布らしさを発揮する景観の検討	■ 自宅周辺の景観(街並み)と自宅から見える景観(眺望)両方の 保全 が必要である。

Bグループ



関連分野	関連する施策	主なご意見
環境、住環境	うるおいのある親水空間の整備	■ 多摩川は 子どもが遊べるような親水空間 になると良い。
	湧水、地下水、雨水の確保	■ 野川、府中用水など、夏は水が干上がっているときもあるため、 水量を確保し、水の流れを復活させる工夫・実現 を考えていく必要がある。
	公園・緑地の保全、整備	■ 緑被率を高める取組として、例えば、 新築時に苗木をプレゼント する制度を導入するなど、緑を増やす工夫が必要である。 ■ 地区計画による緑化や生垣設置に対する助成は実施しているが、 屋上緑化・壁面緑化などに対して も検討してよいのではないか。
住環境	快適な住居空間づくり	■ 住宅地では 小規模な住宅が増えつつあり、住環境の悪化が心配 である。 敷地面積の最低限度を決める のが良いのではないかと。 ■ 用途地域を 現状にあったものに見直す べきである。
景観	魅力ある街なみ・都市景観づくり	■ 安全な道路整備と歴史的な街道の景観保全是、対立するものであることを考慮する必要がある。旧甲州街道につながる小路は、 狭い路地のような空間が昭和レトロを感じさせる ので良いという考えもある。

Dグループ



関連分野	関連する施策	主なご意見
交通	道路整備の推進	■ 自転車を利用しやすく、歩行者の安全も守られるようにするためには、 歩車道の分離など構造的な部分から検討を見直す 必要もあり、利用者にとって安心できる環境を整える必要がある。
環境、住環境	公園・緑地の保全、整備	■ 崖線を知らない小学生も多い。崖線は調布市を 特徴づける緑 でもあるので、 子どもたちにも知ってもらう ために、教育の場から取り入れていくべきである。 ■ 遊歩道の緑をもっと充実させる 必要があるのではないかと。
	都市農地の保全、活用	■ 宅地化が進み田畑は減少しているが、農地がある元の姿に戻すことは難しく、緑がなくなってしまうのは寂しい。生産緑地を 買い取る など、 農地の減少を防ぐ方法を考える が必要があり、市民レベルで考えていくことも大事である。
	教育・学習・コミュニティの充実	■ 市内には、公園が少ない地域もある。公園の管理などは住民が主体になっていくなど、住民参加を進める工夫が必要である。
	—	■ 調布市も再生可能エネルギーを普及させようと、 公共施設にソーラーシステムを導入 するなど取り組んでいるが、 もっと民間にも普及 させていく必要がある。

